

平成27年度「生徒からの授業評価」について

今年も、全ての授業において「生徒からの授業評価」を実施しました。

昨年度から、評価者である生徒一人一人と教員とのコミュニケーションを大切にするため、記名式で実施しています。概要及び集計結果は、以下のとおりです。

1 実施日 平成27年10月14日（水）～11月6日（金）

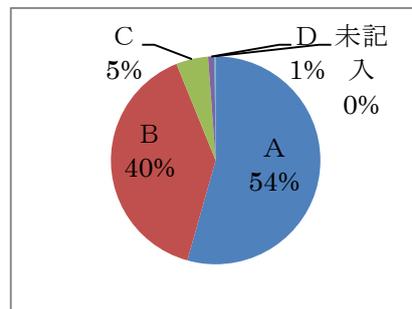
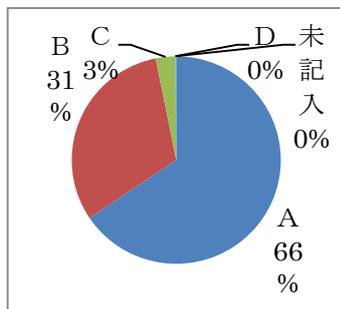
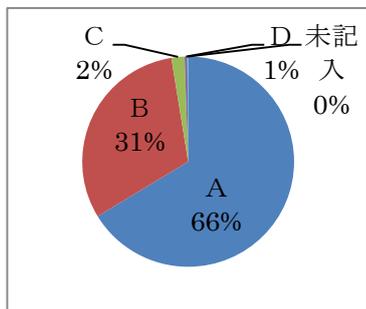
2 生徒数及び回答者総数 生徒数：916名、回答者総数：10,429名

3 集計結果及び分析

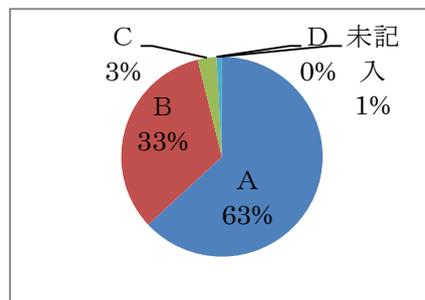
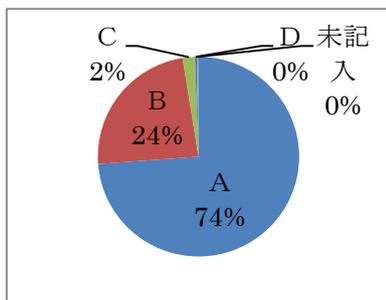
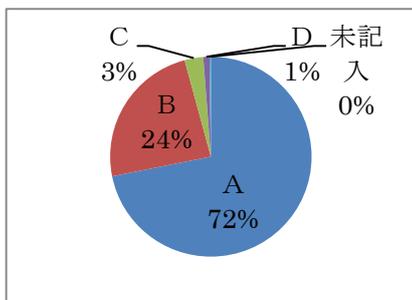
（A：あてはまる B：だいたいあてはまる C：あまりあてはまらない D：あてはまらない）

（1）教師について

- ① 授業内容（難易度）は適切である。 ②授業の進む速さは適切である。 ③教科、科目についての興味・関心を呼び起こす授業である。

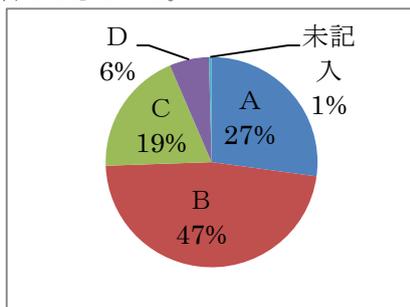
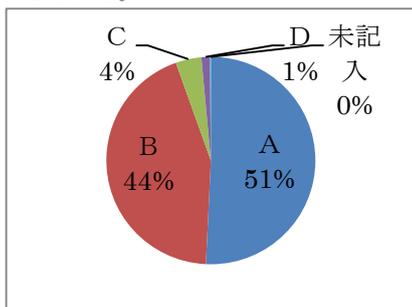


- ④生徒に発言・発表の機会を適切に与えている。 ⑤先生の話し方は明瞭で聞き取りやすい。 ⑥（座学中心の教科）板書や視聴覚機器の使い方が適切で効果的である。
（実技・実習中心の教科）実技・実習の場合、デモンストレーションが適切で効果的である。



（2）生徒自身について

- ⑦授業に集中し、意欲を持って取り組んでいる。 ⑧授業内容について、予習（準備）・復習はできている。



（3）分析

教師について問う項目では、A、B合わせた評価が全ての項目で9割を超えている。自由記述で得られた具体的な提案をもとに、各教科会で話し合いを行い、より一層の授業力向上を図っている。

生徒自身に関する項目では、4分の1以上の生徒が、予習・復習で課題があることを自覚している。

アクティブ・ラーニングの重要性が叫ばれる昨今、授業で主体的・協働的な学習を展開することが課題である。